

小平市議会定例会 一般質問通告書 (一問一答方式)

質問件名 女性職員が管理職をめざし活躍しやすい環境整備で 202030 の実現を

質問要旨 (質問する趣旨・内容を具体的に、1 問 1 ページに納めて記入してください)

国は、男女平等社会の実現を目指し指導的な地位にある女性管理職を 2020 年までに 30%までに引き上げることを目標に掲げています。小平市においても、小平アクティブプラン 2 1 の中で、管理職に占める女性の割合を高めるよう努力するとありますが、2013 年度実績で課長補佐以上の割合は 16.2%に留まっています。全国的に見ると 2013 年 7 月に帝国データバンクが実施した調査では、女性の管理職（課長相当職以上）が占める割合について「10%未満」が 81.1%と女性管理職への登用はまだまだ進んでいない状況といえます。

日本で女性の管理職が増えない理由は、そもそもの日本社会の風土や現状でモデルとなっている管理職の長時間労働の問題、子育てなど家庭と仕事の両立への不安などさまざまな要因があげられています。管理職をめざすかどうかは、男女を問わず本人の意思によるものですが、女性であるがゆえにそれを阻まれたり、躊躇せざるを得ない状況については改善していく必要があります。まずは、小平市が手本となり女性管理職を目指せる環境を整え、202030 の実現に本気で取り組むべきと考え以下質問します。

- 1 過去 10 年間の女性管理職の割合を示してください。
- 2 行政サービスの向上という視点から女性管理職を増やすことの必要性についてのご認識を伺います。
- 3 女性管理職 30%の実現にむけての具体的なプロセスについて伺います。
 - ① 職員課だけではなく全庁的な検討の場が必要と考えます。特に専門部署である青少年男女平等課との連携についての見解を伺います。
 - ② 課題や改善点など当事者である女性職員へのヒアリング等が必要と考えますが、どのような形で意見を吸い上げるのかお示してください。
- 4 女性管理職を増やすための意識改革や研修のあり方、ポジティブ・アクションなど具体的な取り組みについてのご認識をお示してください。
- 5 ワーク・ライフ・バランスの視点から働き方の見直しを含めた職務環境の改善についての見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則題 57 条第 2 項により通告します

2014 年（平成 26 年）9 月 1 日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 岩本博子